

ザ・クインテッセンス／2011. 12月号

○治療計画で考えるべきは何か? —患者個々の病的変化、時間軸を加味した治療概念の提案 (加来慶久)

*歯を喪失する大きな原因は細菌と咬合ストレスであるのは、間違いのない事であるが、歯科治療の診断および治療計画の立案において、最も重要なファクターである「咬合」にフォーカスを当てそのリスクと患者の個別的要素を踏まえた診断法を、実例で解説している。個別要素の中でも時間的要素は患者の年齢、さらに年齢から考えた健康に対する今後の見通しということになるが、治療計画の立案には欠かせない要素である。筆者は、咬合のリスク判断と患者の年齢を加味した評価から6つの症例で治療計画を示し、考察を加えている。

○インプラント時代に「歯の移植」考える 歯の移植と矯正治療:一般臨床医と矯正医の連携 (塚原宏泰 川端喜美子)

*インプラントが治療のオプションとして確立され、歯の喪失の代替手段であった歯の移植は応用される頻度が少なくなったような気がするが、筆者は矯正治療と組み合わせることでのメリットを強調している。①歯根膜の特性を生かせるため移動が可能 ②術後に矯正力をかけた移植歯は歯根膜の活性化が得られるためアンキローシスを起こしづらいなどである。外傷で保存困難な歯に抜歯即時移植を行った症例や先欠歯の部に根末完成歯を移植した症例など興味深いケースを提示している。

日本歯科評論／2011. 12月号

○特集 その診断は正しいか——若手臨床家の取り組みから (坪田有史 他)

*5~10年の臨床経験の若手歯科医師の症例を提示し、坪田先生が司会進行でディスカッション、スペシャリストのドクターによるコメントという3部構成で展開します。臨床経験は浅いドクターですが全力で考え、取り組んでいる姿は頭が下がります。自分ならどうするか考えながら読んでいくとおもしろいのではないかと思います。

○開業医におけるビスフォスフォネート製剤服用患者への対応 (齋藤善広 他)

*ビスフォスフォネート (BP) 製剤を服用している患者は少なくありません。2003年にBRONJが報告されてから、我々歯科医師は抜歯等観血処置をおこなうにあたりBP製剤の使用について大変気にしています。そのための担当医師とのやり取りも非常に気を使います。本稿は医師にBP製剤の休薬以来を行ったエピソードをもとに、対診に必要なポイントと文書例を提示しています。

デンタルダイヤモンド／2011. 12月号

○実践歯学ライブラリー／がん患者の口腔ケアと歯科治療 地域医療連携でQOLの向上を (大田 洋二郎)

*がん患者さんを診療する機会が増えてきています。がん治療と歯科治療のかかわり方を理解し、地域医療連携を行うことで、患者さんのQOLを向上させる方法を示しています。さらに、がん治療のステージ (化学療法の時期・放射線療法の時期など) に合わせた口腔ケアのポイントが詳しく示しており、非常に参考になります。

○Orinsho.com／補綴症例を重症化させない対策とポイント (島 弘光)

*筆者は、「患者さんが健康でなければ維持できないような、複雑な補綴装置を装着してしまうと、健康が失われた時にその管理が非常に困難になってしまう。そのため、口腔内を複雑にしないために、小規模の補綴治療の時点で歯科的な症状の進行を食い止める努力が必要」と考え、歯周組織に調和したCrの歯肉縁下の形態、ボンティック基底部の形態、偏心運動時のガイドの与え方などを記載しています。参考になりました。是非、ご一読ください。

歯界展望／2011. 12月号

○臨床の幅を広げる歯内療法の特ピックス 外傷歯マネジメント (東京都開業 尾上由枝 石井 宏)

*臨床の現場では、外傷の患者の来院は少なくない。11月号から続く5回シリーズのこの文献は不意の外傷患者の来院に備えるための情報の整理になると思う。歯牙や歯根の破折や脱臼、脱離 (完全脱臼) などの歯牙外傷は、二次的に支持組織 (歯肉・歯槽骨) の損傷をとまなうことが多い。今月は特に破折・脱臼についてその外傷の程度や部位を細かく分類して詳しく解説している。

○特集 コンポジットレジン修復の longevity を探る

- ・材料特性からみたコンポジットレジン現状 (山口 哲 今里 聡)
- ・今さら聞けない Basic チェックポイント (秋本尚武)
- ・適応症をどう考えるか (宮崎真至 高見澤俊樹 黒川弘康)
- ・臨床における longevity を求めるテクニック
補修修復の考え方とその実際 (宮崎真至 高見澤俊樹 黒川弘康)
再治療の考え方とその実態 (青島徹児)

*岡山県歯科医師会の学術部では2012年2月26日に「猪越重久先生」のコンポジットレジン修復のご講演を企画している。今月のこの文献はタイムリーなことに、この講演の予習になる。基礎的なことをふまえて猪越先生の講演に参加されると更に理解が深くなると思われる。